



テーマ：緊急避妊薬を考える

緊急避妊薬とは、望まない妊娠を避ける最後の避妊法で、無防備な性交から72時間以内の服用が必要です。諸外国では1999年にフランスで承認以降、約50カ国で承認され、うち約30カ国ではOTC化されています。一方、日本では2011年に承認・販売され、医師の処方箋により交付されています。緊急避妊におけるWHOのエッセンシャルドラッグに指定されている国際的にも標準的な方法ですが、日本での緊急避妊法の認知率は約33%であり、妊娠中絶件数は年間約20万件にのぼります。このような現状にある「緊急避妊薬」について、日本では今後どうあるべきかを考えませんか？

日時：平成30年5月12日（土） 場所：札幌コンベンションセンター2階 204室

【第1部 特別講演】 13:30～14:45

製品紹介 緊急避妊薬「ノルレボ錠1.5mg」 あすか製薬 北日本統括部 札幌営業所 学術担当 川上 正己 氏

演題「緊急避妊用ピルを薬局から地域へ —そのために今何をなすべきか—」

女性薬局経営者の会 会長 堀 美智子 先生

主催 北海道薬学大会組織委員会 共催 あすか製薬(株) *当日は茶菓をご用意させていただきます。

*なお、個数には限りがございますので、予めご了承願います。

第2部では、聴講者が課題を検討し更に理解を深めていただきます。

【第2部 グループディスカッション】 14:55～16:00

「緊急避妊薬を考えるグループディスカッション」

主催 北海道薬学大会組織委員会

・講演聴講後にグループディスカッションに参加する場合は、事前申込書を下記までお送りください。申込締切:4月16日(月)先着66名

・講演聴講後に見学する場合は、当日12:30より、204室前にて受付を開始します。先着60名

<問い合わせ・お申込み> 北海道薬剤師会 大会事務局

電話:011-811-0184 Fax:011-831-2412 E-mail:do-yakugakutai@dooyaku.or.jp